

海外体験報告 (Overseas experience report)

看護学専攻 1年 氏名 伊東 真沙美 渡航先 大韓民国	
<input type="checkbox"/> 海外研修 <input checked="" type="checkbox"/> 海外留学 <input type="checkbox"/> 海外学会参加・発表 <input type="checkbox"/> その他 () 利用制度/学会名 (大学間協定校 短期課程プログラム)	
渡航期間 period	2016/03/07 ~ 2016/03/23 (17 日間)
費用 cost	(全体経費) 航空費+滞在費+海外保険+生活費 = 20万 円 その内、財政支援 7万 円 (財源: JASSO)
渡航のための準備 Preparatory activities (事前研修プログラム、独自での語学勉強、下調べなど) まず、協定校に参加を申し込むにあたり、担当の方とメールでやりとりをする必要があり、英語でメールをやりとりすることを学習しました。TGLの事前研修プログラムでは韓国の政治・経済・文化を自己学習し、渡航先にての怪我や病気など緊急時の対応について研修を受けました。語学については第二外国語で朝鮮語を受講していたこともあり、韓国語の復習をしてから渡航しました。	
渡航経験からの学び What I learned from this experience? <p>渡航してからは学内や日常生活では英語を使用しました。しかしながら、市場や屋台での買い物では韓国語しか通じないことが多く、少し苦労しました。</p> <p>留学先では、韓国語の学習、韓国の政治・経済・法律・歴史・文化・日韓関係の講義の受講、韓国文化体験やフィールドトリップを行いました。韓国語の学習では教室内の授業だけでなく、キャンパス内のカフェや食堂にいる学生に話しかける演習をしました。会話中心の講義であったことから、習った韓国語を日常生活にすぐに取り入れることができました。また、韓国の有名な歴史的建造物や日本が統治していた頃の建物を見学し、歴史を肌で感じ、異文化を深めることができました。</p> <p>留学先で最も苦労したことは、留学生課の担当の方が英語で説明される内容を聞き取ることでした。自分自身の英語力の弱さを痛感し、海外に長期留学するためには自分の英語力をさらに高める必要があると感じてきました。</p> <p>最後に、SAP留学とは異なり、東北大学から一人で参加したことで、海外で一人で生活する精神力を養えました。</p>	
	写真の説明 legends of photo 景福宮にて記念撮影
おすすめポイント reason for recommendation 仙台空港から韓国行きの飛行機が出ているので、気軽に行くことができます。 初めて海外に留学する方にもおすすめです。	